

# 市長記者会見

◆と き：令和2年12月17日(木)

午前10時～

◆ところ：可児市役所4階第1会議室

1. 可児市重大ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

可児市市長公室秘書広報課

0574-62-1111 内線3324

1月開催予定日時  
1月26日(火)午前10時～

## 令和2年 可児市重大ニュース

次のとおり、令和2年の重大ニュースを発表します。なお、順位付けはしていません。

1. 「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」を開催！「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」オープン
  - パブリックビューイングを実施
  - 日本で唯一とされる明智光秀肖像画の特別公開
  - 日本画家・内田青虹氏より市に寄贈された絵画2点を公開
  - 「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」来場者が 30 万人を達成
2. 可児市の魅力を全国へ発信！
  - 438年の時を経て、明智光秀が故郷「明智荘」に蘇る！ 明智光秀公ブロンズ像の建立
  - 光秀ファンクラブ設立
  - NHK「のど自慢」公開番組の開催
  - 可児市 明智光秀 × 中日ドラゴンズ スペシャルコラボ
  - 「デジタル巡回ラジオ体操」で可児市を PR
  - 話題沸騰！「かぐや姫の散歩道」
3. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響及び各種支援策の実施
  - クラスターの発生などで市内感染者数が増加
  - 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施
  - 新型コロナウイルス感染症に対応した新しい学校生活
  - 各種支援対策を実施
  - 緊急経済対策としてプレミアム付Kマネー発行事業を実施
  - コロナ差別を許さない緊急メッセージを発信
4. 市政経営計画の策定
5. 「(仮)可児御嵩インターチェンジ工業団地」開発事業に着手
6. 市内公共施設の大規模改修を実施
  - 蘇南中学校 増築校舎が完成・大規模改造工事の着工
  - 可児市文化創造センター大規模改修工事が完了
7. 日英共同制作公演「野兔たち」を上演(東京 2020 応援プログラムの認証事業)
8. 第2ばら教室 KANI を広陵中学校内に開設

## 1. 「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」を開催！「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」オープン

令和2年1月11日(土)、土岐明智氏発祥の地とされる明智荘(現在の可児市北東部から御嵩町西部にかけて存在した荘園)にある花フェスタ記念公園で「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」のオープニングセレモニーを開催しました。また、博覧会会場内には、大河ドラマ放送の機会を捉え「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」も同時にオープンし、「明智光秀生誕地 可児」の魅力を全国に発信しました。



オープニングセレモニーでのテープカット



### ○パブリックビューイングを実施

1月19日(日)の大河ドラマ「麒麟がくる」初回放送に合わせて徳重聡さん(藤田伝吾役)を招き、パブリックビューイングとトークイベントを開催しました。イベント終了間際には、岐阜市でトークイベントを終えた本木雅弘さん(斎藤道三役)もサプライズで登場し、来場者(390人)を大いに沸かせました。

なお、大河ドラマ初回放送終了時には、「紀行」において明智光秀生誕地として可児市が紹介されました。



担当:大河ドラマ活用推進室

### ○日本で唯一とされる明智光秀肖像画の特別公開

日本で唯一とされる明智光秀の肖像画を所蔵する本徳寺(大阪府岸和田市)から貴重な原本を借用し、「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」会場と可児郷土歴史館において1月に限定7日間の特別公開を実施しました。

明智光秀博覧会の会場では限定3日間で4,188人、可児郷土歴史館では限定4日間で1,305人の来場がありました。(2会場で延べ5,493人)

また肖像画の高精度デジタル撮影をおこない、精密な複製画を作成しました。この複製画は、明智光秀博覧会の会場において令和3年2月14日まで無料公開中です。



担当:郷土歴史館・文化財課

### ○日本画家・内田青虹氏より市に寄贈された絵画2点を公開

山口県出身の日本画家(歴史人物画家)である内田青虹氏より令和元年11月に寄贈された、明智光秀と明智玉子(ガラシャ)を題材とした日本画2点を、「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」会場にて6月3日から令和3年2月14日まで無料公開中です。

#### 【公開絵画】

- 1.「決意(光秀・愛宕山連歌の会)」
- 2.「桔梗紋物語」



決意(光秀・愛宕山連歌の会)



桔梗紋物語

担当:文化財課

### ○「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」来場者が30万人を達成

11月23日(月・祝)において「明智光秀博覧会 2020 in 可児市」への来場者が、目標としていた30万人に達しました。

和歌山県から家族で訪れていた30万人目のお客様には、記念品の贈呈セレモニーを行いました。



担当:大河ドラマ活用推進室

## 2. 可児市の魅力を全国へ発信！

### ○438年の時を経て、明智光秀が故郷「明智荘」に蘇る！ 明智光秀公ブロンズ像の建立

大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公、明智光秀の生誕の地とされる明智城本丸跡に光秀公のブロンズ像を建立しました。銅像は高さ約 2.3m、台座は約 2m、鎧に陣羽織を身に纏い鉄砲を所持した立像で、困難を前に決断を下し、第1歩を踏み出す光秀の姿が表現されています。

日本藝術院会員で日展副理事長の彫刻家神戸峰男さんが制作し、制作費は全国の光秀ファンや市民の皆さまのご寄附を活用させていただきました。光秀公の命日である6月13日に、神戸さんをはじめ明智城址保存会、明智荘を見つめる会など、地元関係団体の方への感謝を込めて、明智城本丸跡で「除幕と感謝の集い」を開催しました。

明智城本丸跡は、「明智光秀博覧会2020 in 可児市」会場からも近く、大河ドラマ館及び博覧会会場とあわせて、市内外から多くの方が蘇った光秀公ブロンズ像を見に訪れています。

人々が穏やかに暮らせる、争いのない時代。その幕開けを願って立ち上がった明智光秀の思いを後世につなげていきます。



担当：総合政策課

### ○光秀ファンクラブ設立

明智光秀生誕地とされる「明智荘」に大河ドラマ館がオープンし、来館する観光客に可児市を知っていただく絶好の機会となりました。そこで可児市での明智光秀に関する情報やイベント・観光情報を効率よく発信するため、1月11日に「光秀ファンクラブ」を開設しました。

ファンクラブは、SNSのLINE公式アカウントを活用し、明智光秀と「お友達」になるだけで、全国のどなたでも可児市の旬でホットな話題がスマホなど端末上で受け取れる仕組みです。11月30日現在で、942名の方がお友達になっています。

#### 【発信内容】

- 1月11日 「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」オープンと共に開設
- 2月17日 ボランティアグループ販売の「御荘印」を紹介
- 3月19日 可児川下流域自然公園のカタクリ群生と美濃金山城跡の千本桜をPR
- 6月13日 明智光秀公ブロンズ像建立をPR
- 7月31日 大河ドラマ館のリニューアルとイベント「甲冑展」のPR
- 8月21日 ドラマ館チケットで市内の博物館をお得に巡ろう企画をPR
- 9月30日 山城に行こう！2020スタンプラリーをPR
- 10月16日 市内誘客事業「お食事・お土産可児満載！ガラポン抽選会」をPR



担当：観光交流課

## ○NHK「のど自慢」公開番組の開催

可児市文化創造センター・アールで NHK「のど自慢」を開催しました。「のど自慢」は、「歌で思いを届ける！」をテーマに地域の皆さんの元気な歌声を全国にお届けするもので、可児市での開催は平成14年8月実施以来18年ぶりです。760通の応募から当選した250組の審査が2月15日(土)に行われ、本選出場者20組が選出されました。

2月16日(日)の本選会場には約860名の観覧者が訪れ、会場は熱気に包まれ大盛況でした。

開催日 予選会:令和2年2月15日(土)  
本選:令和2年2月16日(日)  
場所 可児市文化創造センター・アール  
ゲスト 市川由紀乃さん、三山ひろしさん  
司会 小田切千アナウンサー  
主催 NHK岐阜放送局、可児市  
観覧者数 予選会:1,050人 本選:860人  
出場者数 予選会:320人(250組)  
本選:28人(20組)



担当:総合政策課

## ○可児市 明智光秀 × 中日ドラゴンズ スペシャルコラボ

「明智光秀生誕地 可児」を、中部圏、とりわけ愛知県民へPRするため、地元球団の「中日ドラゴンズ」と連携し、様々なイベントを実施しました。

### 【実施内容】

(1)6月19日より明智光秀博覧会の会場内で、コラボグッズを販売

(2)中日×巨人戦「明智光秀生誕地 可児市デー」を実施

日時 10月11日(日)

会場 ナゴヤドーム

企画内容 PRブースの設置

来場者へのノベルティグッズ配布

大河ドラマ出演者である門脇麦さんによるファーストピッチセレモニー(始球式)

(3)花フェスタ記念公園雅ホールでのドアラ・チアドラステージショー(11月15日)

「戦国秋の大感謝祭～麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館～」に合わせて、スペシャルコラボ企画「ドアラ&チアドラがやってくる！」を開催しました(観覧者数 513名)。

また、大河ドラマ館では、限定ドアラバージョンの来館記念証を956枚配布しました。

担当:大河ドラマ活用推進室



ファーストピッチセレモニー後のフォトセッション

### ○「デジタル巡回ラジオ体操」で可児市を PR

可児市は、「2020 年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の開催予定地でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催中止となりました。これに代わるものとして、各地域で撮影したラジオ体操動画を、YouTube「ラジオ体操チャンネル(かんぽ生命)」にてインターネットで配信する「デジタル巡回ラジオ体操会」を実施しました。

ラジオ体操動画は自治体PRを兼ねており、撮影当日の 9 月 28 日は、「明智光秀公ブロンズ像前」と「木曾川渡し場遊歩道」でラジオ体操第一の撮影を行い、「デジタル巡回ラジオ体操 可児市」を YouTube にて公開し、広く PR を行いました。

出演者：スポーツ推進委員、木曾川左岸遊歩道友の会、明智荘をみつめる会

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=Y0KD4YRUf-c>

動画→



担当:文化スポーツ課



### ○話題沸騰!「かぐや姫の散歩道」

市内北西部の木曾川沿いにある「かぐや姫の散歩道」が話題となりました。

「かぐや姫の散歩道」は、今渡と土田地内の木曾川渡し場遊歩道内にあり、木曾川左岸遊歩道友の会により整備された 600mに及ぶ竹林遊歩道です。

竹林を通り抜ける風や川の流れる音を聞きながら散歩したり、昔話の世界に入り込んだかのような素敵な写真が取れるスポットです。

市や観光協会のホームページ、SNS、観光冊子などでPRをしたことにより、コスプレ撮影会の開催や民間企業のCM、報道番組など多くのメディアで取り上げられました。週末には市外からも観光客が来訪する人気のスポットとなっています。



担当:観光交流課

### 3. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響及び各種支援策の実施

#### ○クラスターの発生などで市内感染者数が増加

3月下旬に市内の感染者が確認されて以降、市内及び近隣市においてスポーツジム、職場、家族間等でクラスター(5名以上の集団感染)が複数発生しました。12月14日(岐阜県公表日)現在で、岐阜県内で岐阜市、大垣市に次ぐ141人の感染者が確認されることとなりました。

#### ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、感染拡大防止のため、市民の皆様に対して三密回避や不要不急の外出自粛、休業要請などの協力を依頼し、市民の皆様の協力のもと感染防止対策に努めました。

- 2.27 可児市感染症等予防対策本部設置(県内初の感染者確認を受け)
  - 3.2 市内小中学校の休校を開始
  - 3.26 市民の皆様へ三密回避や不要不急の外出自粛を要請
  - 3.27 市内全ての公共施設を閉館
  - 4.7 国の「緊急事態宣言」発令。可児市新型コロナウイルス感染症対策本部設置
  - 4.18 市内事業所への休業協力を要請
  - 5.14 国の「緊急事態宣言」解除
  - 5.15 市内公共施設を順次再開。市民の皆様へ「新しい日常」の協力を依頼
  - 5.25 可児市新型コロナウイルス感染症対策本部→可児市感染症等予防対策本部に移行
- 現在も市民の皆様へ対し、感染防止の徹底をお願いしています。

担当:健康増進課

#### ○新型コロナウイルス感染症に対応した新しい学校生活

##### (1)市立小中学校4～5月臨時休校後の対応

カリキュラムの見直しや行事の精選等を行い、授業時間数を確保しています。また、指導内容を見直し、授業で行うこと、家庭で行うことに分けています。

夏休み等の長期休暇は期間を短縮して、授業に充てました。(夏休み:8月1日～8月16日)

##### (2)感染予防に留意した学校生活

各学校において健康チェックカードを使い、毎日の検温や健康状況を把握しています。また学校内ではマスクの着用、手洗い・手指消毒を習慣化し、授業では、感染防止のため、内容や指導計画の変更を行っています。学校行事は、感染防止のため、内容の変更、期間や時間を短縮したり中止したりしました。



担当:学校教育課

## ○各種支援対策を実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている市民の皆様の生活や地域経済を支えるため、総合支援対策の5つの柱に沿って、各種支援対策を行いました。

### <総合支援対策の5つの柱>

#### 第1 雇用の維持と事業の継続のための支援

(雇用調整助成金、持続化補助金への上乗せ補助、かに飯応援プロジェクトへの補助 など)

#### 第2 生活に困っている世帯や個人等に対する支援

(市税、上下水道料金等の徴収又は納付猶予、市営住宅の家賃減額・徴収猶予、緊急雇用(市臨時職員) など)

#### 第3 子育て世帯、子ども達への支援

(かにっこ応援特別給付金、保育園保育料・キッズクラブ保育料等の減額又は免除、学校支援員の増員、タブレット配備による学校 ICT 環境の整備促進 など)

#### 第4 感染症拡大防止策の徹底と今後への備え

(避難所備蓄品の充実、地域子育て支援センターへの感染症対策備品購入補助金の交付、児童センターへの感染症対策備品の整備 など)

#### 第5 地域経済活動の回復(プレミアム付Kマネー発行事業 など)

## ○緊急経済対策としてプレミアム付Kマネー発行事業を実施

地域経済活動の回復に向け、地域支え愛による緊急経済対策としてプレミアム率20%のプレミアムKマネー(総額18億円)を発行しました。

### 【実施状況】

7月 市民及び在勤・在学者を対象に販売  
申込総数 28,075人 購入者数 27,728人

12月 市民を対象に販売  
申込総数 20,289人 購入者数 3,495人(抽選)

【販売額】 14億88,910千円(額面 17億86,692千円)※12月14日時点

担当:産業振興課



## ○コロナ差別を許さない緊急メッセージを発信

令和2年9月議会において、コロナに起因する差別や偏見を許さず、市民が平穏に暮らせるよう「コロナ差別を許さない可児市議会緊急メッセージ」を全会一致で可決し、発信しました。

担当:議会総務課

#### 4. 市政経営計画の策定

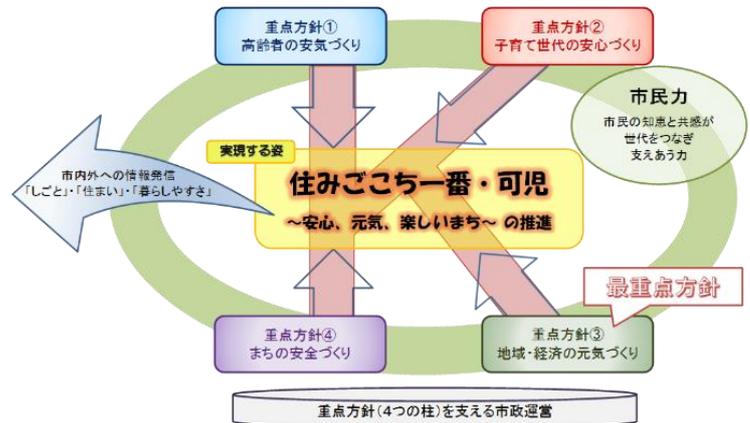
少子高齢化に伴い増加していく社会保障費や、税収の伸びも見込めない社会情勢、老朽化を迎える多くの公共施設の改修など、今後ますます財政運営は厳しさを増すものと見込まれます。

こうした本市を取り巻く厳しい状況から、これまでの総合計画に替わる仕組みとして、長期的な視点を持ちつつ、喫緊の課題にも対応した施策の選択と集中により、限られた財源、資源を効果的・効率的に配分し、次世代に負担をかけない市政経営の指針として「**可児市政経営計画**」を策定しました。

本計画では、「**住みごこち一番・可児** ～安心、元気、楽しいまち～」の実現にむけて、引き続き4つの重点方針を定めるとともに「**地域・経済の元気づくり**」を最重点方針とし、「**企業誘致**」と「**観光振興**」を最重点施策として位置付けました。

##### 重点方針

- (1) 高齢者の安気づくり
- (2) 子育て世代の安心づくり
- (3) 地域・経済の元気づくり
- (4) まちの安全づくり



担当: 総合政策課

#### 5. 「(仮)可児御高インターチェンジ工業団地」開発事業に着手

東海環状自動車道可児御高インターチェンジ隣接の土地(約 17.2ha)に工業団地を造成・分譲する事業に着手しました。

本事業は、市政経営計画の最重点施策であり、可児工業団地、二野工業団地、柿田流通・工業団地とあわせ本市の代表的な企業集積地として、新たな雇用の場の創出、移住・定住人口の増加、税収の確保を目指します。



今年は、用地取得、開発区域及びアプローチ道路の詳細設計、ボーリング調査などを行いました。

今後は、優良企業を立地するための誘致活動も並行して進めていきます。

##### 【全体スケジュール】

- |           |  |
|-----------|--|
| 令和 2 年度   | 用地取得、詳細設計、ボーリング調査                        |
| 令和 2～4 年度 | 埋蔵文化財発掘調査                                |
| 令和 3 年度   | アプローチ道路改良工事                              |
| 令和 4～6 年度 | 造成工事                                     |
| 令和 5～6 年度 | 分譲(第 1 期令和 5 年 11 月以降、第 2 期令和 7 年 1 月以降) |

担当: 企業誘致課

## 6. 市内公共施設の大規模改修を実施

過去の急激な人口増加や都市化の進展などに伴い、集中的に整備してきた市内の公共施設は、その多くが建築後 30 年を経過して老朽化が進み、改修が必要な箇所が多く出てきています。

市では、可児市公共施設等総合管理計画により、公共施設の計画的な改修を進める方針を立てており、今年度は、蘇南中学校の校舎増築と大規模改造工事の着工、文化創造センターの大規模改修を実施しました。

そのほか今年度中に、各公共施設の「個別施設計画」を策定するとともに、今後も定期点検等により施設の劣化状況を把握し、予防保全を行うなど、施設をより長く使うための取り組みを進めていきます。

担当：総合政策課

### ○蘇南中学校 増築校舎が完成・大規模改造工事の着工

6月30日に、蘇南中学校北舎の北側に増築校舎が完成しました。延べ床面積約 997 m<sup>2</sup>、軽量鉄骨造 2 階建てで、普通教室 8 部屋、トイレ男女各 2 か所、給食配膳用昇降機などを備えています。

この増築校舎は、建築から 40 年を経過し老朽化した校舎を改修するための蘇南中学校大規模改造工事(令和 2 年 7 月着工)における代替教室として使用するとともに、3~4 年後に生徒数が 1,000 人を超えることが予想されており、これに対応するための教室として使用するものです。

なお、蘇南中学校大規模改造工事は、令和 4 年 3 月に完成する予定です。



担当：教育総務課

### ○可児市文化創造センター大規模改修工事が完了

令和 2 年 3 月 16 日から全館閉館し実施をしていた可児市文化創造センターの大規模改修工事(工期：令和元年 9 月 30 日~令和 2 年 12 月 28 日)が完了しました。

本工事は、平成 14 年の開館以来 18 年が経過し、設備機器の経年劣化や老朽化に伴い、様々な箇所での傷みや不具合が発生していることから、「運営に支障を来す経年劣化や老朽化に伴う改修」と「安全性の確保」を中心とし、開館後初めて全館を閉館して改修工事を実施しました。

劇場部分以外については、10 月 1 日に一部開館しています。全館開館は令和 3 年 1 月 8 日で、一般利用は 1 月 11 日からです。ぜひご利用下さい。



### 【主な工事内容】

- (建築) 小劇場及び主劇場、パブリックエリアの特定天井落下防止対策、ウッドデッキの更新、内外壁・床等の補修、雨水対策、安全対策(階段や手摺)等
- (電気設備) パブリックスペースの LED 化、空調設備の改修に伴う動力設備等の改修等
- (機械設備) 空調・換気、給排水・給湯設備の更新、老朽化箇所オーバーホール、オストメイト設置等
- (舞台機構設備) 吊物機構消耗品・床下機構消耗品の更新、調整卓・制御盤の更新等
- (舞台照明設備) 調光装置の更新、負荷設備の更新等

担当:文化スポーツ課

## 7. 日英共同制作公演「野兎たち」を上演(東京 2020 応援プログラムの認証事業)

可児市では、文化芸術活動を通じた共生社会づくりを目指し、英国で教育や福祉における文化芸術活動を先駆的に実施している「リーズ・プレイハウス」と 2015 年に劇場提携を結んでおり、今年、可児市文化創造センター・アールにおいて、共生をテーマとする舞台作品「野兎たち(英題:MISSING PEOPLE)」を共同で制作し、令和 2 年 2～3 月にかけ、同センターをはじめ東京、リーズ市で公演を行いました。



本公演では、現代人の孤独や孤立、社会的な圧力を取り上げ、英国と日本の演出家が両国の家族観・社会観の違いを認めながら、国際的な作品ならではの「価値観の多様性」を効果的に表現しました。可児市の家庭を舞台とし、孤独に生きる日英の家族を通して人々の幸福の在り方を問う家族の物語で、市民になじみのある設定による地域発信の作品として鑑賞者も一体となる演出で、共生社会の理解・促進に寄与しました。

また、本公演は、東京 2020 応援プログラムの認証事業であり、東京 2020 オリンピック、パラリンピック協議大会の機運醸成等に向けた参画促進及びレガシー創出に向けたアクションとしても実施しました。

### 【公演】

- 2月8～16日 東京 9 公演(新国立劇場)
- 2月22～29日 可児 7 公演(可児市文化創造センター・アール)
- 3月12～14日 リーズ 4 公演(リーズ・プレイハウス)

担当:文化スポーツ課

## 8. 第2ばら教室 KANI を広陵中学校内に開設

昨年度まで、ばら教室 KANI への入室希望者が増加し、待機する児童生徒もあったため、広陵中学校の多目的室を利用して施設の整備を行い、8月31日(月)から第2ばら教室 KANI を開室しました。

第2ばら教室 KANI は、日本語を話すことができない外国籍の児童生徒について、学校へ通学するために必要となる日本語の学習や日本の生活に慣れるための活動を行っています。



担当:学校教育課